

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2007; 93(Suppl.1): P203	2005年1月～2006年4月に北海道で献血者のHEV-RNAスクリーニングを行った。388,119名のうち、男性33名(1/7,120)、女性22名(1/6,962)がHEV-RNA陽性で、g genotype 3が優勢であった。55名中40名は献血時のHEV抗体陰性であり、後に陽性となった。HEV陽性者にはALT値が上昇した人もいたが自覚症状はなかった。HEV-RNAは献血後、最長37日間検出された。HEV陽性献血者由来の輸血を受けた患者7名のうち、少なくとも2名が感染した。
												E型肝炎	肝臓 2007; 48(Suppl.1): O-178	発症前からのウイルス血症の推移、肝炎発症から沈静化までの経過を観察しえた輸血後E型肝炎2例の症例報告である。1例は輸血21日目にHEV RNA (genotype 4)が検出され、44日目にピーク値を、もう1例は輸血後3日目にHEV RNA (genotype 3)が同定され、54日目にピーク値を示した。HEVウイルス血症は潜伏期間を経て発現し、対数増殖後約50日前後にピークを示し、その後AST、ALT上昇と血中抗HEV抗体の出現を順に認めた。
555	2007/09/28	70555	バクスター	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	人血漿	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト-ヤコブ病	FDA/CBER 2006年 11月27日	FDAは、米国で認可されたヒト血漿由来第VIII凝固因子製剤(pdFVIII)の使用に係る潜在的vCJDリスク評価草案を作成した。FDAの評価モデルの結果は、血友病Aおよびフォンウィルブラント病患者に使用されるpdFVIII製剤の、vCJD感染リスクは非常に低い、ゼロではないかもしれないことを示唆した。製造工程での原因物質除去レベルにより、vCJD感染リスクは大きく変動する。
556	2007/09/28	70556	バクスター	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	乾燥人血液凝固第Ⅳ因子	人血漿	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト-ヤコブ病	FDA/CBER 2006年 11月27日	70555fと同じ
557	2007/09/28	70557	バクスター	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	無	無	異型クロイツフェルト-ヤコブ病	FDA/CBER 2006年 11月27日	70555fと同じ
558	2007/10/01	70558	武田薬品工業	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウス脳	日本	製造工程	無	無	無			